１４期　激動の幕末を読み解く　トピックス(10 月)

日時：10 月 8 日（木）10：00～12：00　　教室：ONCC 豊中教室
講師：中村　武生　先生
内容：「慶喜・春嶽政権 ― 公儀の禁裏への屈服」
　　一橋慶喜(将軍後見職)・松平春嶽(政治総裁職)による文久の改革
　幕末の混乱が最高潮に達し、朝廷・幕府・強藩(薩･長･土など)のパワーバランスが大きく激変した「明治維新の胎動」における最大のターニングポイントの文久 2 年･3 年を詳細に解説頂きました。
在籍者数　16 名(内欠席者　3 名)　出席者　13 名
＜今日のひと言＞
・大政奉還は慶喜が言い出したのでなく、それ以前に大久保忠寛が主張していたことを初めて知った。
・文久 2 年の濃密な事が沢山生じており 2 時間の講義では時間が足らない。

日時：10 月 22 日（木）10：00～12：30
講師：中村　武生　先生
テーマ：「東三本木・聖護院・黒谷－京都守護職会津家の拠点など」＜講師同行探訪＞
　神宮丸太町駅→梁川星巌宅跡碑→東三本木(頼山陽旧宅<山紫水明処>)→吉田屋跡駒札・立命館草創の地碑→熊野神社→聖護院→大名陣屋跡→岡崎道・広道交点道標→黒谷金戒光明寺(容保宿舎、浅野家墓地)








日時　：10 月 29 日(校外学習)
行先　：㈱大阪取引所、適塾

大阪取引所は、諸藩の蔵屋敷があった江戸時代の大坂の米穀取引所を起源に、五代友厚らが発起人となって設立された大阪株式取引所が前身。

太平洋戦争後、大阪証券取引所(大証)として、東京証券取引所(東証)とともに日本の株式市場の一翼をなしてきた。しかし、株式の電子化が進み、東証との重複上場銘柄の多くは東証での取引が中心となってきた。その為、大証での出来高が減少していき、一日の取引が成立しないことも起こり始めた。そして、2011 年以降の東証との経営統合により、日本取引所グループでの市場デリバティブ専門取引所に位置付けられることとなった。(取引所職員さんからの説明による)






取引所見学後、近くにある緒方洪庵ゆかりの適塾を訪問。




適塾は、1838 年(天保 9 年)に緒方洪庵が、大阪船場に開いた蘭学の私塾。幕末から明治維新にかけて福沢諭吉、大村益次郎など近代日本の国家形成に関与する人材を多数輩出した。遺構は「緒方洪庵旧宅および塾」として国の史跡に「緒方洪庵住宅」として重要文化財に指定されている。大阪大学の源流とされています。

（文責：１班広報）